



ごあいさつ

皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。
平素より、〈にっしん〉をご利用いただきまして、心より厚く御礼を申し上げます。

昨年の東日本大震災、原子力発電所の事故による甚大な被害は、国内の社会や経済に深刻な影響を残しています。

さらに、欧州の財政、金融危機の深刻化や米国経済の減速により世界経済が低迷し歴史的な円高が続くなど非常に厳しい一年でありました。

こうしたなか、少子高齢化の進行に伴う人口の減少、市場のグローバル化や企業の海外への生産移転による国内産業の空洞化が一段と進んでおり、私どもの主要なお取引先である中小・零細企業の経営環境は一段と厳しいものとなっています。

このような環境の下、平成23年度の業績は、期末預金残高は6,576億円と前年比50億円の減少となり、期末貸出金は3,107億円と前年比76億円の減少となりました。経済環境はさておき、これは私どもの営業が皆様の期待に添えなかった証であります。現状を認識し営業力を強化して皆様のご要望を的確に把握し、満足していただけるよう積極的に取り組んでまいります。

収益面につきましては、貸出金の減少・市場金利の低下による利息収入の減少や不良債権処理費用が多額となりましたが、国債・地方債等の債券売却益が寄与し、当期純利益329百万円を計上することができました。

また、金融機関の健全性を示す自己資本比率は11.12%（国内基準4%）となり、経営の安全性は十分確保されています。

不良債権につきましては、「中小企業金融円滑化法」を踏まえ、担当部署を設置し本部と営業店が一体となって経営改善支援に取り組んでまいりましたが、不良債権額は3年続いて増加となりました。現在のところ目立って数字に現れていませんが、経営改善支援の取組みの効果は着実に現れてきています。「中小企業金融円滑化法」が平成25年3月で終了するなかで、我々としては、いっそう課題解決型融資を推進するとともに経営改善支援に精一杯取り組んでまいりたいと考えております。

〈にっしん〉は社会貢献の一環として視覚障がい者の方が安全に窓口をご利用いただけるよう、点字ブロックを全営業店に設置しました。ATMにつきましても、音声案内で処理できる機器を全店に設置しました。また、全店の営業室の照明を省エネ対策として、LED照明に交換しました。今後も社会貢献、地域貢献に積極的に取り組んでまいります。また、お客様に安心していただけるように、心臓を蘇生するAEDや小声でも聞き取れる助聴器を全店に設置しCSにも努めてまいります。

引き続き、欧州の財政問題・米国やアジア新興国の今後の景気動向について不透明であり当面は厳しい環境が続くものと思われまます。

平成24年度は、中期3年計画「絆 ～地域とともに持続的発展を～」の初年度であります。一層「地域社会に密着し、お役に立つ信用金庫として信頼される」を旨とし、役職員一丸となって皆様に喜んでいただける金融サービスを提供できるよう懸命に取り組んでまいります。

従来に増して皆様のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成24年7月

理事長 和田 吉正